

JAPAN GAME FISH ASSOCIATION

Vol. 45/No.3.AUTUMN 2024

JGFA NEWS

FRESHWATER, SALTWATER AND FLY FISHING

HOT SEA AND TYPHOON ISSUE

ロバート・ナバロさんインタビュー

Interview with Robert Navarro

JIBT報告

Billfish tournament Report

IGFAルールクイズ

IGFA Rule Quizzes

沖釣りサーキット報告

JGFA Party Boat Circuit

And more



カート・ファウシュ教授という、オレゴン州立大学で河川生態学を教えていた方の著書『For the Love of Rivers』（オレゴン州立大出版局）に、北海道のサケ孵化場を視察に訪れたノルウェー人研究者の話が紹介されています。遡上してくるサケをすべて捕獲し、採卵のうえ人工授精を行って稚魚を放流するという事業の施設です。日頃ストイックで控えめなその研究者は、涙を浮かべながらこう言ったということです。「どうかやめてくれないか！ 私達もこれと同じ間違いを犯し、野生のアトランティック・サーモンを壊滅させてしまったんだ」。

良かれと思っで行う行為が思わぬ連鎖反応を起動してしまい、逆の結果を生むケースもあるということを、いまや私達はよく知っています。結局は対話と情報共有、そしてバランス取りを心がけることしかできないようにも思えます。しかし、小さな声も合わされば、大きな音として聞こえます。水の魅力を熟知し、自然の中であそぶことの楽しさと有用性をよく理解している私たちならではの声を各方面に届けていけば、釣りを取り巻く事態は好転させることができます。各方面にアンテナを張り、力を合わせてまいりましょう。



おわびと訂正

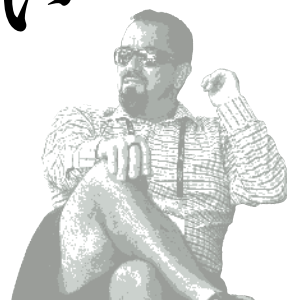
先ごろ発行いたしましたJGFAイヤーブック2024において、クラブ代表者のお名前に複数箇所の間違いがございました(イヤーブックp136、左側のコラム)。正しいものを右に記載すると同時に、深くお詫び申し上げます。

| クラブNO | クラブ名と所在地 | 代表者 | 釣法 |
|-------|----------------------------|--------|------------|
| 514 | クラブゴールドンドリーム 北海道札幌市 | 井上 卓治 | B,L,TR,T,F |
| 549 | 弘前マグラーズ 青森県弘前市 | 佐藤 偉知郎 | L |
| C69 | チームセルフィッシュ 青森県弘前市 | 大西 康弘 | B,TR |
| 875 | HBR(Hard Back Rush) 岩手県宮古市 | 佐々木 修 | L |
| 225 | くろしおフィッシングクラブ 宮城県塩竈市 | 鈴木 雅博 | TR,B,L |
| 732 | サンルーカスビルフィッシュクラブ 宮城県仙台市 | 吉岡 昌彦 | TR |
| 752 | 仙台ビルフィッシュクラブ 宮城県石巻市 | 鈴木 宏尚 | TR |
| 855 | ターゲット 岩手県大船渡市 | 佐々木 充行 | L |
| C59 | ノースオーシャンフィッシングクラブ 宮城県仙台市 | 高橋 大助 | TR,B |

釣りのリクルーターと言われたい

＜ロバート・ナバロさんインタビュー＞

ロバート・ナバロさんは、米国フロリダを拠点に世界各地を飛び回り、釣り(とくにビッグゲーム・トロリング)に関わる仕事やボランティアに取り組んでいる。毎年、日本にもかなりの長期間滞在するようになってきたというこの熱い人に、釣りと仲間作り、個人的な信念、トーナメントのあり方などを聞いてみました。



JGFA(以下**JG**): ルーツはキューバでいらっしゃるんですよね? 言葉はスペイン語と英語ですか?

ロバート・ナバロ(以下**RN**): そうですよ。メキシコなどにもよく招待されますが、スペイン語を話せるとわかると、とたんに親しくしてくれます。パナマには11回行ったことがあります。ベネズエラには4年住み、コスタリカには6シーズンいました。パナマには6シーズン。中央アメリカの国々でながすばらしいかといえば、魚のバイト数です。1日に40〜50バイトあることも珍しくないですよ!

JG: エッ!?

RN: だから、うまくなるのも速いです。同じことを、何度も短期間に練習できるんです。そんなことを20年ちかくやってます。40歳のときには、ハワイでチャーターボートのキャプテン業を始めました。37フィートのライボビッチ、よい船でした。しかしオーナーが方針を変更したので私はフリーランスに戻り、まだ立ち上がり時期だったインスタグラムに情報を上げ始めたんです。なにせ世界各地で年間300日も釣りをしていましたから、ネタはたくさんありました。

JG: 休んでいる時間がないじゃないですか……

RN: 好きですからね。インスタグラムに上げる写真を作り出すため、何をやろうかと思ったかといえば、トーナメントの立ち上

げです。それに加え、多方面にわたる釣りのハウツーマニュアルを動画で作り、公開しました。いまでは1500本くらいになりましたよ。

JG: 釣りが好きなだけでなく、それを伝えることができ、イベントの設計も可能だよ、という証拠を世間に見せたわけですね。トーナメントは、誰かから依頼されて設計するというのもしていますか?

RN: はい。たとえば昨日は、パハマの各所にあるマリーナと電話で交渉していました。この大会、もともとはボート4艘で2019年に始まったもので、ただちに30艘に拡大したけれど2週間でソールドアウト。1箇所では足りないの、規模を広げるためには複数拠点にしないといけないんです。いずれにせよ、私がトーナメントでやりたいのは、お金ではなくて、その場所や釣りという遊びに対する興味を引き上げることなんです。トーナメント経費の中で、カメラマンたちにはたくさんお給料を払っています。マリーナの人たちには、活気に溢れた写真やビデオをお渡ししたいですからね。

JG: 最近の大きなプロジェクトはどんなものですか?

RN: サウジアラビアでフィッシングクラブを設計しています。2019年には王国の歴史で初めてオフショアの大会を行ったのですが、現在は紅海沿いのジェッダというところにクラブハウス建設も含めて計画しています。

JG: でも、釣りの「クラブ」というものは全世界的にやや衰退の傾向が見られていますよね。

RN: 確かに人のつながりは、組織がなくても作れるようになりましたよね。しかし、そのクラブが世界各地にある場所と強いつながりがあって、すばらしい経験が期待できるとしたら? サウジアラビア・フィッシングクラブは年に4〜5回トーナメントをやり、世界各地からアングラーを招待しようと考えています。トロリングもできますし、GTも大きいのがいますよ。ことばが違って、釣りは共通です。

JG: 日本に来はじめたのはいつくらいですか?

RN: 2016年だったと思いますよ。私をフォローしてくれる多数の人達に会ってみたいと思ったんです。クロカジキもいる様子でしたし、JIBTという大会もある。だからビルフィッシュ・ファウンデーションやインターナショナル・ゲームフィッシュ協会に紹介してもらったんです。当時の私は一介の釣り人でしたけれど、いまはTBFの役員ですし、IGFAのレップとしても活動していますよ! 原則として、釣りの認知度向上や、新し



トロリングに限らずボトムフィッシングも大得意

い人に楽しんでもらうためのキャンペーンには、私の時間を無償で提供します。私が適任かどうかは別として、釣りのスポークスマンが各地に必要だと思うんです。「釣り」とはいいですが、私たちがこの遊びですばらしいと思う点は、仲間たちとの交流なんです。

JG:全面的に同意します！

RN:魚はいずれ、ついてきますからね……。「釣り上げる」というのはたんにリールを巻いて魚を寄せることですが、「釣り」はもっと広くて楽しくて、仲間たちと時を過ごすことだと考えます。私はいま51歳ですが、次の人のことを考えています。私の役割を受け継いでもらう人が、どこかにいないかなと。釣人として、ボートのデッキハンドとして、キャプテンとして、トーナメントのディレクターとして、釣り全般のプロモーターとして。あるフィッシングショーで、3人の有名な人たちが「釣り人口の減少について」気の滅入るような話をしていました。もし私がその場にいたら、すぐ釣りをやめていますよ！ ものすごくつまらない話でしたし。

JG:現場の釣りが、退屈ってことはあんまりないですね。

RN:そこなんです。魚の数や大きさばかりに注目すると、たいしたことがない日ってものもあるかもしれませんが、学んだこと、交わした冗談、目にしたすばらしい風景などを思い出せば、退屈しているなんてありえない。

JG:魚をハリにかけることに関わるぜんぶが、すべて釣りの体験なんですよ。

RN:私の収入は、クロカジキを世界中で追いかけることによって得られています。しかし、世界中のすべての人がカジキ釣りをできるわけではないし、大きなボートを所有することができる人はあまりいません。釣人はその他の領域に膨大に存在していて、米国では6700万人と言われているんですが、カジキ釣りをやっている人は33万人です。私は、釣り全体をプロモーションしたいんです。

JG:そんな人たちの中から、カジキ釣りに興味を持って、やり始めて人が出てくるなら、さらに結構ですね。つまりあなたは、釣り

全般のアンバサダーとして、活動されている。

RN:そのように自称はできませんが、仮にどなたかが「ナバロさんは釣りを広めてくれる、アンバサダーみたいな人だね」と言ってくれるなら、それは素晴らしい褒め言葉として受け取ります。私は、たんに釣りと魚が好きで、他の人といっしょに楽しみたいという気持ちを持っているだけなんです

JG:JIBTは何回目でしたっけ？

RN:4回目だと思いました。

JG:いろいろご感想はありだと思いますが、どんなところが気に入ってますか？

RN:知りたいですか？ 皆さんの実践を見て、世界各地でやってみたいと思っているのは、前夜祭のやりかたです。各チームが、他の仲間たちのために料理を作る……すばらしいですよ。私はクリスチャンなのですが、聖書にこのような言葉があります。文字通りの表現は忘れてしまいましたが、「自己研鑽のすえ、あなたがある水準に到達したら、後ろを振り返って手を差し伸べるのが次の仕事である」というものです。私はこのことをよく考えますし、仕事や生活のなかでもできるだけ実践しようと思っています。たとえば、知り合いが「どことこの国で釣りをしたいんだけど、よいキャプテンを紹介してくれないかな」と言ってきたら、喜んでお手伝いします。前夜祭のよい雰囲気は、新しい人たちにも手を差し伸べていると思います。聖書はまた、人に尽くしなさいと教えます。とっても基本的で言うまでもないかもしれませんが、仲間たちのために心を込めて料理を作るのは、まさに人に尽くすことですよ！

JG:会話のきっかけにもなりますね。

RN:そうですよ。一箇所に座ってサーブされるのを待つのではなく、いろいろなものを食べたいから、必然的に人がよく混ざって、懇親も深まると思います。

JG:ありがとうございます。

RN:私達のトーナメントでは「ドックパーティー」といって、持ち寄りの食事会をやることはたしかにあるんですが、牡蠣とかステーキなどを座って食べるんですよ。着席の表彰式とかでもそうで、ドレスアップはできますがあまり多くの人と話ができないですよ。カジュアルな服で、カクテルでなくビールを飲みながら楽しく会話できるというのは、とても貴重なことです。「表で仲間たちと楽しむ」という、釣人の基本でもあります。仮にサウジアラビアの王族たちがJIBT前夜祭に来たとしても、かんたんに溶け込めますよ。それくらい、よい雰囲気です。初回からそう思っていましたよ。

JG:全員が持ち出しのボランティアなんですよ。

RN:ほんとうにすばらしい。私は自分を「ヒゲの生えた大きな子供」と思っているんですが、あのようなパーティーは子どものころの楽しい体験を思い出させてくれますよ。米国の有名大学には「フラタニティ」(学友会のようなもの)がありますが、一度学友になれば、世界のどこにいても仲間です。JIBTの参加者たちにも、それを強く感じますね。

JG:参加者たちの帰属感といいますか、一体感はかなり強くあると思います。お客様のままではられないので。

RN:私は、ドアを大きく開けてもらうように各地で努力しています。フランスの友人たち、サウジの友達、アメリカの仲間たちに

も、ぜひこの場に来て欲しいですね。そして、日本の皆さんにも各地の人たちと交流してもらいたい。

JG:ではこの機会に……現在のJIBTに足りないものは何でしょうか？

RN:まずはトーナメント間の、もっと強力な連携でしょうか。複数の大会が連携することができれば、国外の人たちもいまよりずっと簡単に参加できるようになると思います。キーになるたった1人の人が来てくれるだけで、その人の周りの多数が日本のことを知り、足を運んでくれる機会につながるでしょう。何千年も釣り文化を育んできた日本からは、とても多くのことを学ぶことができ、私達が知らないユニークな製品も数多くあります。それを海外に知らしめるためには、やはり足を運んでもらうお膳立てをしてあげなければならない。

(上空を見上げて)将来は、私もああいう感じで、東京に泊まってヘリで下田に来てみたいです！

JG:ソーシャルメディアを今の仕事の足がかりにされたわけですが、コミュニケーションに相当時間を取られるでしょう？ 大丈夫ですか？

RN:時として、猛烈に忙しくなることもあります。友達は多すぎて悪いということはないです。朝に起きたら、すぐに電話が始まりますし、各プラットフォームに来ているメッセージをチェックして必要ならば返事をします。たとえば私は来週に米軍の人たちを対象としてワシントン州でビンナガのトーナメントを開催するんですが、その準備でいま連絡は本土と密に取っています。その港の周辺にホテルはあまりないですが、気候が気持ち良い時期なので、おそらく皆がキャンプします。調整することが数多くありますが、それは仕事なので……。気分転換のことをいえば、日本はほんとうに安心できます。ワイヤレスイヤホンを入れて、音楽を聞きながら散歩をするのが好きです。ニューヨークではそうはいきませんよ！

JG:時差もあるから大変だとは思いますが…

RN:大きな時差があるからこそ、日本の昼間の時間がリラックスタイムになります。私がまとめる最大のイベントは、毎年7月4日に開催するブルーマーリン・ワールドカップ。今年は世界各地で162艘の船が参加し、優勝者は125万ドルを手に入れましたが、その後に訪れる日本はとても大きなリラックスタイムなんです。楽しい仕事かしらないとは決めていますけどね。「JIBTに足りないもの」に話を戻すと、JIBTも変わり続けたいといけないと思います。つねに新しい人たちにアピールし魅力を更新しないと、老化に追いつかれてしまいます。私は自分のことを釣りの「アンバサダー」ではなく「新人リクルーター」と思っています。

JG:その新人さんは、10歳でも50歳でもいい。

RN:子供に釣りをさせたいと思うなら、お母さんたちを巻き込むのいい、というのが私のいまの考えです。

JG:そうですか！ お父さんではなく？

RN:父親は、仲間といっしょに出かけてしまいますよ。キッズとファミリーイベントはとても大事です。新しいことをやろうと思われるなら、ご相談に乗ります。オフシーズンなら、私の知り合いを通じて、有名な野球選手もきつと巻き込めますし、検討してみ

ください。

JG:ありがとうございます！

RN:問題がある、ということは解決のチャンスが有ると考えるようにしています。釣りのクラブはどれも会員数の減少に悩んでいます。次世代の人たちに手を差し伸べて、釣りの手ほどきをするのは私たちの責務といえるものです。

JG:釣獲制限などはどうでしょうか？

RN:仮に釣り過ぎが問題であれば、それを解決しなければなりません、次世代のために。私たちは、意見を聞いてもらいやすい年齢になり、コミュニティのなかで尊敬されていて、かつ老けすぎてもいい。やるべき仕事をしなければなりませんね。私も、あと10年くらいは、自分の太鼓を力いっぱい叩き続けようと思っていますよ。ミック・ジャガーが今日81歳になったことを考えれば(注:収録日は7月26日)、私達はまだまだいろいろできます。かつての名門トーナメント、ハワイアン・ビルフィッシュ・トーナメント(HIBT)の凋落から学んでください。彼らが今年大会をキャンセルせざるを得ないほど参加者が減少してしまったのは、変わらなかったからです。外からの刺激がなく、運営者はずっと変わらず、同じやりかた、同じルールを使い続けた。皆さんはもちろんHIBTを原型としていらっしゃいますが、そのフォーマットは黄金則などではないんです。変化と適応が大事です。似たような例は、世界中で他にもありましたよ！ 同じことをやっている、お客さんは少なくなるんです。

JG:たいへんすばらしい示唆をありがとうございます、銘記しました。世界のトーナメントシーンやフィッシングクラブのことをよく理解されているナバロさんには、ご相談に乗っていただくことがこれからもあると思います。協会にもぜひまたお立ち寄りください。

RN:行きますよ！ 8月にはまた来ますし！

JG:楽しみにしています。



【JGFA沖釣りサーキット2024 第1戦アマダイ大会】

沖釣りもIGFAルールで、という故服部善郎名人（JGFA名誉会員）の呼びかけで2005年から始まったJGFA沖釣りサーキット。いよいよ2024年も開幕です！今年の第1戦は真冬の1月、平塚「庄三郎丸」にてアマダイ大会からスタート。IGFAルールやバググリミットを守りながら、総勢20名が釣りを楽しみました。今年の釣り運はいかに。

【大会要項】

- ▼開催日：2024年1月28日(日) 出船6:30 沖上がり14:00
- ▼場 所：神奈川県平塚「庄三郎丸」 <https://www.shouzaburo.com/>
- ▼審 査：全長25cm以上のアマダイ3尾までの総重量
- ▼ルール：IGFAルールに準ずる（電動リール、クッションゴム不可。ハリ数は2本までなど）
- ▼その他：バググリミット（持ち帰り制限）は25cm以上7尾まで。他魚種を含め10尾まで
- ▼参加人数：20人（うち、女性4名・初参加2名）
- ▼写真提供：伊達志織さん、福永雄海さん

【当日の概況】

早朝は小雪が舞い、かなり冷え込みましたが、釣りの最中は微風、風で、潮もあまり早くなく、40号の軽いオモリで対応できる比較的釣りやすい状況。最初は水深50mの浅場からスタートしました。本命は釣れるものの、審査対象の25cmギリギリのサイズばかり。そこで船長はたまたま100m超えのポイントへ移動。すると良型のアマダイが釣れだしました。

最大サイズは平澤貞三さんの43cm。アカアマダイの他、キアマダイの40cmクラスも釣れ、中には小さいながらシロアマダイも交じり、赤、黄、白をコンプリートした方もいました。

上位3名の方達には、庄三郎丸さんからのご厚意で干物詰め合わせが贈られました。釣れた人も残念だった人も和気あいあいと、とても楽しい大会となりました。

【結果発表】

25cm以上の3尾を選んで計測。優勝は平澤貞三さんの1.80kgとなりました！ おめでとうございます！

- 1位 平澤貞三 1.80kg
- 2位 浅野俊吾 1.65kg
- 3位 舟橋夢人 1.60kg



全員で記念撮影。庄三郎丸さんありがとうございました



審査対象は25cm以上、バググリミットを守ります。いつまでもいいアマダイが釣れるように

【JGFA沖釣りサーキット2024・第2戦タチウオ大会】結果レポート

【大会要項】

- ▼開催日：2024年2月25日(日) 出船6:45 沖上がり13:00（寒さのため）
- ▼場 所：神奈川県川崎「中山丸」 <https://www.nakayamamaru.com/>
- ▼審 査：全長80cm以上のタチウオ3尾までの総重量
- ▼ルール：IGFAルールに準ずる（電動リール、クッションゴム不可。ハリ数は2本までなど）
- ▼その他：バググリミット（持ち帰り制限）は80cm以上5尾まで。他魚種を含め10尾まで
- ▼参加人数：14人（うち女性2名）
- ▼写真提供：古宮正勝さん

【当日の概況】

暖かい2月かと思いきや当日は生憎の天気。午後からの予報だった雨も釣り開始と共に降り始め、最高気温5℃と相まって極寒の中の釣りとなりました。それでもタチウオの活性は高く、船全体にアタリがあり皆さんまずまずの釣果でした。

そんな中、今回の1位は前回のアマダイ大会に引き続き平澤貞三さん（ぜひコツを教えてください！）

誘いや食わせにより釣果は分かれたものの、楽しく釣りができればそれでOKです！ 雨にも負けず、釣果にも負けず、そんな楽しいひと時でした。

【結果発表】

全長80cm以上のタチウオ3尾までの総重量を計測。優勝は平澤貞三さんの2.30kgとなりました！

- 1位 平澤貞三 2.30kg
2位 古宮武 1.95kg
3位 福永雄海 1.90kg



参加は14名。寒い中ご参加ありがとうございました



上位3名の方には表彰状を進呈。おめでとうございます！



80cm以上が検量対象です。皆さんいい笑顔ですね！

【JGFA沖釣りサーキット2024・第3戦マゴチ大会】

【大会要項】

- ▼開催日：2024年5月26日(日) 出船7:00 沖上がり14:30
- ▼場 所：神奈川県金沢八景「一之瀬丸」
- ▼審 査：全長40cm以上のマゴチ1尾の重量(それ以下は対象外、同重量の場合は年齢が高い人優位)
- ▼ルール：IGFAルールに準ずる(電動リール、クッションゴム不可。ハリ数は2本までなど)
- ▼その他：全長40cm以上のマゴチ3尾まで、他魚種含め10尾まで(何尾釣ってもかまいませんが、持ち帰りはバグリミットを厳守のこと)
- ▼参加人数：19人(エビ餌での釣り15名/ルアー釣り4名)
- ▼写真提供：伊達志織さん、加藤靖暁さん、浅野俊吾さん、福永雄海さん

【当日の概況】

釣り日和のお天気で、午後から風が吹き始めました。潮回りが良く、特に下げ止まりから潮の動き始めに、水深浅めのところに入ると良型のヒットが続きました。船頭さんも一生懸命探ってください、マゴチは全体で30匹ほど釣れました。ここ2、3年の中では、1番良い釣果でした。楽しく釣りできたのは、写真をご覧いただければ、一目瞭然ですね。

【結果発表】

全長40cm以上のマゴチ1尾の重量を計測。優勝は亀岡昇さんの1.55kgとなりました。おめでとうございます！

- 1位 亀岡昇 1.55kg
2位 福永雄海 1.20kg
3位 佐々木愛 1.15kg



数多くの方々にご参戦いただきました



マゴチは年ごとに湧き方のむらがあるようですが、今年は当たり！ 大事な魚ですから、しっかり自主制限を適用します

NEW JAPAN RECORD GALLERY

WR =世界記録 CR =キャッチ&リリース TR =タグ&リリース AL =オールタックル・レンジ記録 FAL =オールタックル・フライ・レンジ記録 W =女性 J =ジュニア 記録

※アカメ、イトウなどの環境省レッドデータブック記載種は、リリース前提での記録申請受付となります。

※コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定にそって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチ&リリースについては、各都道府県でこれを禁じている水域もあり、持ち出しを禁止しているケースもありますので、これらに従うことといたします(2016年7月5日JGFA理事会決定)。

※タイリクスズギに関しては、オールタックル部門および10ポンドシーバスクラブ、年間フィッシングコンテストの対象として申請を受け付けることになりました(2020年4月1日より)。

お願い:記録申請時は、書類、紙焼き写真とともに高画質の写真データもご提出を!
大型魚のデータをできるだけ正確に保存するためです、ご協力をお願いいたします。メディアの形は問いません。

OFF SHORE <船からの釣り>

<タケノコメバル> TAKENOKOMEBARU / *Sebastes oblongus*

●M-3kg(6lb)クラス ●1.16kg ●宮城県仙台市南防波堤内海 ●2024/4/7 ●松枝 正也 ●Jim,sSalonMembers ●エスベランサ

<ハマフエフキ> EMPEROR, spangled / *Lethrinus nebulosus*

●W-24kg(50lb)クラス ●1.15kg ●沖縄県国頭郡本部港沖水深90m ●2024/6/7 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●りょう丸



松枝 正也 <タケノコメバル 1.16kg>
何度も潜るうと叩く感じと重量感があり、大きいかもと慎重にやり取りをして浮かせ、自分で最後まで釣り上げた1本でした



浅野 法子 <ハマフエフキ 1.15kg>
強烈なあたりの後から強い引きがあり、巻くことができずに焦った。少しずつ上がってきた魚は、黄色と青色のとても美しい魚体だった

SHORE <岸(磯)からの釣り>

<メジナ> MEJINA / *Girella punctata*

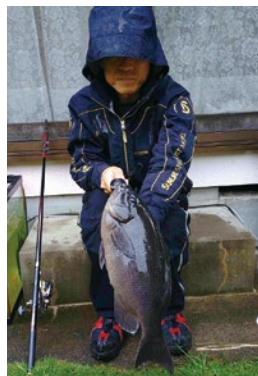
●M-4kg(8lb)クラス ●2.10kg ●高知県土佐清水市 ●2024/3/31 ●由岐 直久 ●レギュラー会員

<メジナ> MEJINA / *Girella punctata*

●M-2kg(4lb)クラス ●1.85kg ●高知県土佐清水市 ●2024/4/20 ●由岐 直久 ●レギュラー会員



由岐 直久 <メジナ 2.10kg>
私はフィールドに恵まれており、周囲でも多くの大きなメジナが釣れております。2.1キロについてもけて大きな魚とは言えませんが、今後も記録更新をしていきたいと思っております



由岐 直久 <メジナ 1.85kg>
3回目の挑戦でようやく認定されました。4lbクラスは空白だったので釣れば記録でしたが、ラインの強度オーバーで苦労しました。普段は使わない系の太さですし、記録狙いの難しさを痛感しました

FRESHWATER FISHING <淡水の釣り>

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●M-37kg(80lb)クラス ●17.55kg ●埼玉県元荒川 ●2024/4/19 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●M-37kg(80lb)クラス ●20.22kg ●埼玉県元荒川 ●2024/4/25 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

<アメリカナマズ> CATFISH, channel / *Ictalurus punctatus*

●W-8kg(16lb)クラス ●4.25kg ●茨城県霞ヶ浦 ●2024/4/27 ●加藤 涼葉 ●ジュニアアングラースクラブ

J W CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●M-37kg(80lb)クラス ●22.46kg ●埼玉県元荒川 ●2024/6/12 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<アメリカナマズ> CATFISH, channel / *Ictalurus punctatus*

●M-37kg(80lb)クラス ●3.16kg ●埼玉県元荒川 ●2024/6/24 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員



加藤 涼葉 <アメリカナマズ 4.25kg>

とても引きが強く、重かった。魚体が見えた時、「これは!」と思ったので、申請が通って嬉しかったです



竹内 尚哉 <ソウギョ 22.46kg>

119cmを仕留めたポイントへ釣行するもしばらく掛けられず。午後を回り開始6時間経過時に寄せエサと同調して仕掛けを流すと反応。25分間のバトルで22.4kgと大満足の釣果となりました



竹内 尚哉 <アメリカナマズ 3.16kg>

のんびりコイ釣りが楽しめるポイントへ出向くと、突然ウキが引たくられてアメリカナマズが釣れた。60cmオーバーなので重量計測すると3kgありました

SALTWATER FLY FISHING <海水のフライフィッシング>

<カスミアジ> TREVALLY, bluefin / *Caranx melampygus*

●W-8kg(16lb)クラス ●2.72 kg ●沖縄県宮古郡多良間村海岸 ●2024/4/4 ●酒川 郁子 ●レギュラー会員

W CR



酒川 郁子 <カスミアジ 2.72kg>

カメと一緒に泳いでいて、エサのおこぼれにあずかるうとしていた魚でした



FRESHWATER FLY FISHING <淡水のフライフィッシング>

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●M-3kg(6lb)クラス ●1.93kg ●山口県佐波川水系 ●2024/4/20 ●田村 紘一 ●レギュラー会員 ●第二田村丸

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●M-8kg(16lb)クラス ●1.54kg ●山口県佐波川水系 ●2024/4/28 ●田村 紘一 ●レギュラー会員 ●第二田村丸

CR

<ニゴイ> NIGOI / *Hemibarbus barbus*

●M-1kg(2lb)クラス ●1.23kg ●埼玉県加須市江川中流域 ●2024/5/6 ●平井 忠 ●レギュラー会員

CR

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●M-4kg(8lb)クラス ●1.87kg ●山口県佐波川水系 ●2024/5/26 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●M-2kg(4lb)クラス ●1.00kg ●徳島県吉野川 ●2024/5/23 ●伊原 武志 ●レギュラー会員

<コウライニゴイ> BARBEL, steed / *Hemibarbus labeo*

●M-10kg(20lb)クラス ●2.18kg ●山口県岩国市小瀬川 ●2024/6/16 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●M-6kg(12lb)クラス ●1.69kg ●山口県佐波川水系 ●2024/6/23 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

<イトウ> HUCHEN, Japanese / *Parahucho perryi*

●M-1kg(2lb)クラス ●1.10kg ●北海道猿払川 ●2024/6/1 ●前田 穰 ●レギュラー会員

CR

WR =世界記録 CR =キャッチ&リリース TR =タグ&リリース AL =オールタックル・レンジス記録 FAL =オールタックル・フライ・レンジス記録 W =女性 J =ジュニア 記録



CR

平井 忠 <ニゴイ 1.23kg>
自宅近くを流れる川に魚が遡上しているかを見に行ってみたところ、ニゴイの群れに遭遇。1kgを超えていそうな魚に的を絞り、フライの流れる方向を確認しつつアブローチ、慎重なやり取りでキャッチできました



伊原 武志
<アマゴ(サツキマス) 1.00kg>
シマトビケラにライズしていました



田村 紘一 <コウライニゴイ 2.18kg>
ビターンと強い着水音でスイッチ入りました



CR

前田 穰 <イトウ 1.10kg>
狙いの場所で、狙いのサイズを釣ることができました

ALL TACKLE <オールタックル日本記録>

<サザナミトサカハギ> UNICORNFISH, bignose / *Naso vlamingii*

●オールタックル ●0.75kg ●沖縄県宮古島東平安名崎沖水深20m ●2024/4/21 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●Sea-son's 新静丸

<ヤエヤマフエフキ> EMPEROR, red snout / *Lethrinus reticulatus*

●オールタックル ●0.70kg ●沖縄県宮古島東平安名崎沖水深60m ●2024/4/21 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●Sea-son's 新静丸

<ツユベラ> CORIS, african / *Coris gaimard*

●オールタックル ●0.52kg ●鹿児島県屋久島吉田堤防 ●2024/4/7 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<ナメラベラ> WRASSE, ring / *Hologymnosus annulatus*

●オールタックル ●0.52kg ●鹿児島県屋久島吉田堤防 ●2024/4/7 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<オオフエフキ> EMPEROR, smalltooth / *Lethrinus microdon*

●オールタックル ●1.20kg ●沖縄県宮古島東平安名崎沖水深70m ●2024/4/21 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●Sea-son's 新静丸

<ナミフエダイ> SNAPPER, blubberlip / *Lutjanus rivulatus*

●オールタックル ●11.50kg ●沖縄県八重山郡与那国島沖 ●2024/4/6 ●小林 一利 ●Team 立約魂 ●第八瑞宝丸

<タデシマフエフキ> EMPEROR, orange-striped / *Lethrinus obsoletus*

●オールタックル ●0.55kg ●沖縄県石垣島沖水深60M ●2024/4/11 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ふぁみりー八号

W

<イソモンガラ> TRIGGERFISH, yellowspotted / *Pseudobalistes fuscus*

●オールタックル ●1.35kg ●沖縄県石垣島沖水深50M ●2024/4/12 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●なんくるや

W CR

<ヒレグロハタ> GROUPER, blacksaddle / *Epinephelus howlandi*

●オールタックル ●1.30kg ●沖縄県石垣島沖水深60M ●2024/4/11 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ふぁみりー八号

W

<アズキハタ> GROUPER, slender / *Anyperodon leucogrammicus*

●オールタックル ●1.75kg ●沖縄県石垣島沖水深60M ●2024/4/11 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ふぁみりー八号

W

<ヒトスジタマガシラ> BREAM, monogrammed monocle / *Scolopsis monogramma*

●オールタックル ●0.50kg ●沖縄県石垣島沖水深50M ●2024/4/15 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●優妃

W

<マダラハタ> GROUPER, camouflage / *Epinephelus polyphekadion*

●オールタックル ●1.10kg ●沖縄県石垣島沖水深60M ●2024/4/11 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●ふぁみりー八号

<シマフグ> PUFFERFISH, yellowfin / *Takifugu xanthopterus*

●オールタックル ●1.28kg ●福井県越前町沖 ●2024/5/14 ●山岡 一信 ●レギュラー会員 ●ORENO KaYaK

<オジロバラハタ> LYRETAIL, white-edged / *Variola albimarginata*

●オールタックル ●1.25kg ●鹿児島県喜界島荒木沖 ●2024/5/10 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●レオンII

<スナガレイ> FLOUNDER, sand / *Limanda punctatissima*

●オールタックル ●0.50kg ●北海道噴火湾水深15m ●2024/5/22 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●ラブーン

CR

<スナガレイ> FLOUNDER, sand / *Limanda punctatissima*

●オールタックル ●0.50kg ●北海道噴火湾水深15m ●2024/5/22 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ラブーン

W CR

<エゾウグイ> EZOUGUI / *Pseudaspius sachalinensis*

●オールタックル ●1.15kg ●北海道天塩川 ●2024/5/5 ●前田 穰 ●レギュラー会員

CR

<マツカワ> FLOUNDER, barfin / *Verasper moseri*

●オールタックル ●1.10kg ●北海道室蘭沖水深12m ●2024/6/19 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●ラブーン

W

<アマミフエフキ> EMPEROR, trumpet / *Lethrinus miniatus*

●オールタックル ●2.15kg ●沖縄県国頭郡本部港沖水深90m ●2024/6/5 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●りょう丸

W

<アイブリ> TREVALLY, blackbanded / *Seriolina nigrofasciata*

●オールタックル ●1.45kg ●高知県室戸沖 ●2024/6/12 ●竹村 浩昭 ●レギュラー会員 ●Mac's kayak

<オオモンハタ> GROUPER, areolate / *Epinephelus areolatus*

●オールタックル ●2.97kg ●愛媛県南宇和郡愛南町 ●2024/6/2 ●永見 昭太 ●レギュラー会員 ●ポートエース

<コクチバス> BASS, smallmouth / *Micropterus dolomieu*

●オールタックル ●3.19kg ●福島県猪苗代湖北岸の沖合約2km地点 ●2024/6/10 ●石井 勝也 ●レギュラー会員 ●スキーターZX195c

CR

<イズカサゴ> IZUKASAGO / *Scorpaena izensis*

●オールタックル ●1.78kg ●福井県越前町沖 ●2024/6/10 ●山岡 一信 ●レギュラー会員 ●ORENO KaYaK

<マトフエフキ> EMPEROR, thumbprint / *Lethrinus harak*

●オールタックル ●0.51kg ●沖縄県石垣島大浜海岸 ●2024/6/9 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR



坂本 幸博 <ヤヤマフエフキ 0.70kg>
ウメイロモドキ狙い後に大移動、周囲は水深100m以上になる浅推ポイントへ。仕掛けを落とし込む度にすぐにヒットし好調。7匹釣って少し流し替えてまた即ヒット！初めてのヤヤマフエフキ30cmでした



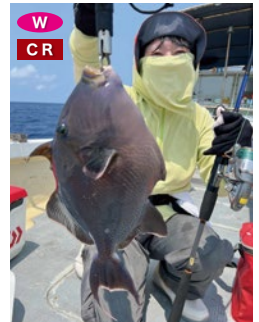
坂本 幸博 <ナメラベラ 0.52kg>
シロタスキベラだと思い、強引にゴボウ抜きにしたが、近くで見たらナメラベラだった。抜き上げ時にハリが外れなくてラッキーでした



坂本 幸博 <オオフエフキ 1.20kg>
ここぞとばかりにひとつテンヤタックルに持ち替えた。これが功を奏し、ほぼ着底と同時に大物ヒット



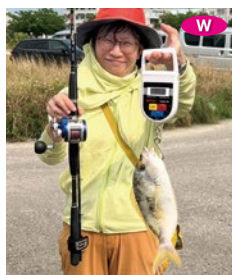
小林 一利 <ナミフエダイ 11.50kg>
初めて見た魚だったので驚きました



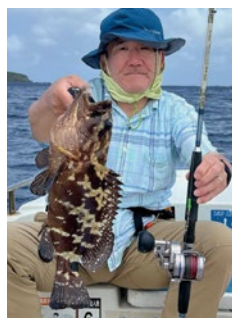
浅野 法子 <イソモンガラ 1.35kg>
あたりが有り合わせの後、強い引きにわかり、ようやく水面に姿を見せてくれましたが、姿が鮮やかで嬉しかった



浅野 法子 <アズキハタ 1.75kg>
大きなあたりが有り、竿が強く引き込まれた。引きが強く、やり取りがとても楽しかった



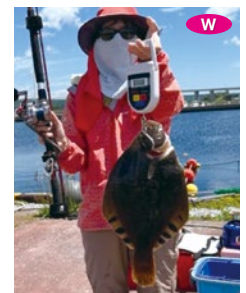
浅野 法子 <ヒトスジタマガシラ 0.50kg>
やや強い引きを楽しみました。初めて出会った魚で、目の周りのブルーが美しく嬉しかった



浅野 俊吾 <マダラハタ 1.10kg>
フエフキ系とは違うハタ系の引きを楽しみました



前田 穰 <エゾウグイ 1.15kg>
直前に全長30cmのイトウが釣れ、サイズアップと思ったらエゾウグイでびっくりしました



浅野 法子 <マツカワ 1.10kg>
小さな当たりだったので、食い込むまでしばらく待って合わせた。巻き上げて中に何かヒラメと違う感じが有り、黒い帯のある魚体が見えた時にはとても興奮しました



竹村 浩昭 <アイブリ 1.45kg>
上がってきたときカンパチと勘違いしました



永見 昭太 <オオモンハタ 2.97kg>
朝ポートを出した時から潮の流れが早く、根掛かりをした感じでしたが途中から強い引きにかかって、魚が見えた時はとても嬉しかったです



石井 勝也 <コクチバス 3.19kg>
雨が降り、風も3m/sほどありましたが、風裏に回りたところでしたが、風下のデカイ魚がいるエリアにいき釣り上げることができました。魚がかかった瞬間に大きいとわかる強烈な引きでした



山岡 一信 <イズカサゴ 1.78kg>
なんやこれ!! デカイ!!

ALL TACKLE LENGTH RECORD <オールタックル・レンジスレコード>

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●レンジスレコード ●116.0cm(叉長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/27 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

AL CR

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

●レンジスレコード ●99.0cm(叉長) ●高知県高知市国分川 ●2024/4/11 ●前田 尚俊 ●レギュラー会員

AL CR

<ギンブナ> GOLDFISH, Asian / *Carassius auratus langsdorfii*

●レンジスレコード ●36.0cm(叉長) ●茨城県利根川 ●2024/5/30 ●奥山 文弥 ●フィッシュ&フィンズ

AL CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●レンジスレコード ●93.0cm(叉長) ●茨城県利根川 ●2024/5/30 ●奥山 文弥 ●フィッシュ&フィンズ

CR

<コウライニゴイ> BARBEL, steed / *Hemibarbus labeo*

●レンジスレコード ●66.0cm(叉長) ●奈良県吉野町吉野川 ●2024/5/12 ●高光 康仁 ●レギュラー会員

AL CR



AL
CR

前田 尚俊
<スズキ 99.0cm(叉長)>
本流に濁りの流入水がある
場所で、ウグイをエサに泳が
せ釣りをした。澄んだ水との
境目で水柱が立つ。過去の
スズキとは別格のトルクある
引きだった。最後まで暴れ、
入水して距離を縮めながら
分厚い下顎を掴んだ



AL
CR

奥山 文弥 <ギンブナ 36.0cm(叉長)>
ソウギョ狙いのハリに食いついてきたこの小さな巨大魚に
敬意を表して



AL
CR

高光 康仁 <コウライニゴイ 66.0cm(叉長)>
透明度が高く、魚は見えていたのでサイトフィッシング

ALL TACKLE FLY LENGTH RECORD <オールタックル・フライ・レンジスレコード>

<アマゴ(サツキマス)> TROUT, red-spotted masu / *Oncorhynchus masou macrostomus*

●フライ・レンジスレコード ●45.0cm(叉長) ●山口県佐波川水系 ●2024/5/5 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

FAL CR

<イワナ> CHAR, whitespotted / *Salvelinus leucomaenis*

●フライ・レンジスレコード ●54.0cm(叉長) ●北海道猿払川 ●2024/6/1 ●前田 穰 ●レギュラー会員

FAL CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

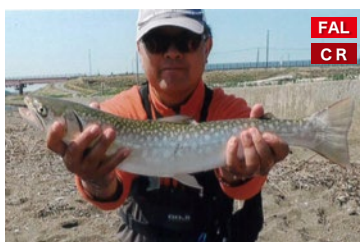
●フライ・レンジスレコード ●77.0cm(叉長) ●茨城県利根川 ●2024/6/20 ●奥山 文弥 ●フィッシュ&フィンズ

FAL CR



FAL
CR

田村 紘一 <アマゴ(サツキマス) 45.0cm(叉長)>
爆風でした



FAL
CR

前田 穰 <イワナ 54.0cm(叉長)>
イトウかと思いきや、イワナでびっくりしました



FAL
CR

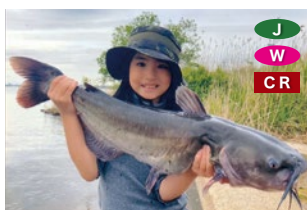
奥山 文弥 <ハクレン 77.0cm(叉長)>
昨年からなんとかフライで釣れないかと狙ってました。阪
東太郎の生産力は素晴らしい

JUNIOR RECORD <ジュニア日本記録>

<アメリカナマズ> CATFISH, channel / *Ictalurus punctatus*

●W/ジュニア ●4.25 kg ●茨城県霞ヶ浦 ●2024/4/27 ●加藤 涼葉 ●ジュニアアングラーズクラブ

J W CR



J
W
CR

加藤 涼葉 <アメリカナマズ 4.25kg>
(事務局より:日本記録のアメリカナマズとおなじ魚です。
コメントはそちらをご覧ください)



200KG CLUB <200キロクラブ>

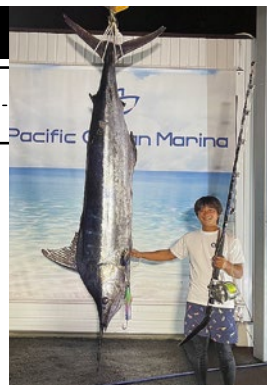
<クロカジキ> MARLIN, blue (Pacific) / *Makaira nigricans*

●60kg(130lb)クラス ●211.00kg ●宮城県金華山沖 ●2023/10/8 ●後藤 克成 ●ACE



後藤 克成 <クロカジキ 211.00kg>

初の200kg越えということもあって巻くことに集中していましたが、無事に釣り上げることができたのは、キャプテン始めチームで一つになったからこそだと思います。目指せ300kg!



METER OVER CLUB<メーターオーバークラブ>

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●10kg(20lb)クラス ●105cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/15 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●10kg(20lb)クラス ●116cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/16 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●10kg(20lb)クラス ●110cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/16 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●116cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/19 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●122cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/25 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●10kg(20lb)クラス ●123cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/4/27 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●101cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/5/10 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●116cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/5/16 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●10kg(20lb)クラス ●102cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/5/22 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●111cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/5/25 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●100cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/6/3 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●15kg(30lb)クラス ●102cm(全長) ●茨城県利根川 ●2024/5/30 ●奥山 文弥 ●フィッシュ&フィンズ

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●119cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/6/9 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idella*

●37kg(80lb)クラス ●118cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2024/6/12 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR



竹内 尚哉

<ソウギョ 122cm>

自己記録を目指してソウギョ釣りへ行くが午前中超大物をバラシてしまう。凹む時間を乗り越えて下流に移動、それなりサイズを釣ることができて満足しました



竹内 尚哉 <ソウギョ 123cm>

バラしたソウギョが忘れられず、無理に時間を作ってタマズメチャレンジ。狙い通り本命を掛けるもまたバラす。だが日没直前、岸際に迫る三角波を確認したので流すと一撃!



奥山 文弥

<ハクレン 102cm>

多くの人が淡水巨大魚のハクレンやソウギョは顔が変だと言いますが、シイラやGTだって十分に変な顔だと思えます。身近な変顔にプライドを



審査員養成講座 ルールクイズ**正解**発表

先ごろ実施いたしました、IGFAルールクイズの正解を発表いたします。

資格を取得なさった方、これから取得を考えている方のみならず、記録申請を目指していらっしゃる方にもたいへんためになる内容が含まれております。ご自分のジャンル以外のクイズも、ぜひ参考になさってください。



A 共通問題

【問題 1】

「リーダーの長さ」とは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さである。

正解＝● 海と淡水のフィッシング・ルール＞釣具の規定 C. リーダーの項に、「リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さであり、末端に位置するフックのベンドから測定する」とあります。

【問題 2】

生き餌、または死んだ餌で釣るときは、シングルフック(1本バリ)を2本まで使用することができる。

正解＝● 海と淡水のフィッシング・ルール＞釣具の規定 F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフックの項に、「生き餌、または死んだ餌で釣るときは、シングルフック(1本バリ)を2本まで使用することができる。この場合、両方のフックは餌の中に埋め込むか、餌にしっかりと固定しなければならない」と記述があります。

【問題 3】

ギャングフックは専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときだけに使用が許され、4本以上使用することができる。

正解＝× 海と淡水のフィッシング・ルール＞釣具の規定 G. フック及びルアーの項に「ギャングフックは専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときだけに使用が許される。ルアーに取り付けたギャングフックは、自由に振れ動かなければならない。使用するギャングフックは3本までに限られる(シングル、ダブル、トレブルのいずれか、または組み合わせ)」と明記されています。

【問題 4】

トローリングまたはキャストイング用のルアーに使われるヘアーまたはボークリンドの他に、ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分もチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用できる。

正解＝× 海と淡水のフィッシング・ルール＞失格となる行為の項に「トローリングまたはキャストイング用のルアーに使われるヘアーまたはボークリンドの他は、ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分もチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用できない」と規定されています。

【問題 5】

ダブルライン全体が全くロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない。

正解＝● 海と淡水のフィッシング・ルール＞失格となる行為の項に「ダブルライン全体が全くロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない」と定められています。

B 選択問題(ビッグゲームの部)

【問題 6】

ロッドティップ長180cmのスピニングロッドでトローリングをして、魚が食いついた衝撃でロッドのトップ部分(20cm)が折れてしまった。幸いトップ下のリングガイドがトップガイドの代替となって普通にファイトした。無事キャッチできて、計量したら日本記録を超えていたので申請した。

正解＝● 海と淡水のフィッシング・ルール＞失格となる行為の項にある「ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時」に該当しませんので、申請は可能です。

【問題 7】

安全のためハーネスをファイティングチェアに括り付けてファイトしたが、セーフティラインが短くて常に張った状況だったので、楽にファイトができた。

正解＝× 海と淡水のフィッシング・ルール＞釣具の規定＞H.その他の用具7.に「セーフティラインは、魚とのファイトにおいて釣り人に有利に作用しないものに限る、ロード、リールあるいはハーネスに取り付けても良い」と規定されています。すなわちセーフティライン使用の目的はあくまで釣具やアングラの落下防止のためであり、アングラを楽にする張りつめた状態での使用は規定違反となります。

【問題 8】

リーダー長9m(ルアー、フックを含む)に64kgラインのダブルライン長3mの用具(ストライキング・ドラグ値20kg)で10m出してトローリングを開始した。キャプテンのリバース操作が上手だったため、5m程ラインを引き出されただけでロッドを抜きファイトができ、T&Rに成功した。

正解＝× 海と淡水のフィッシング・ルール＞釣りの規定4に「ダブルラインを使用するのは自由であるが、ファイトの大部分はシングルラインで行うことが大前提である。ダブルラインやリーダーだけでファイトの大部分を行ってはならない」とあります。

【問題 9】

2本のフックアイは、互いにフックの長さ以上離れている下図の仕掛けは

ルールに即している、Aのフックをサバの鼻先に差し込んでデッドベイトローリングを行っても問題ない。

正解=X 海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定>F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフック1.にて、シングルフック2本まで使用することができる」と記されているが、両方のフックは餌の中に埋め込むか、餌にしっかりと固定しなければならないとの注記がある。Bのフックは固定されていない。

【問題 10】

2本のロッドへ同時にカジギがヒットした(ダブルストライク)。アングラーは自分に近い方のロッドをポストから抜いて、ファイティングチェアーに座り、リーリングを開始した。もう1本のロッドの跳ねているカジギを見たら、現在ファイト中の魚より遥かに大きく、日本記録更新の期待が持てそうである。アングラーは保持していたロッドをポストに戻し、新たにもう一方のロッドを抜いてファイトし、無事ランディングに成功した。帰港して計量したところ記録更新していたので、タックルチェックを行い、精度確認できている秤だったので申請書を作成することにした。

正解=X 海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定3.にて「一人の釣り人が何本かのラインを出して、同時に多数の魚が掛かった時は、最初にファイトした魚だけが記録申請の対象となる」と書かれています。

(ルアー、淡水、岸釣り、磯釣り、沖釣りの部)

【問題 6】

魚がヒットしてからファイト中、釣り人でない人がロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない。

正解=● 海と淡水のフィッシング・ルール>失格となる行為に、「魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないしリリースが完了するまで、釣り人でない人がロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない。本ルールで認められたこと以外の手助けは、全て禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取り除く際にも、ラインに手や身体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触れることは、いかなる場合も禁止される」と記されています。

【問題 7】

北海道の太平洋沖で、従来の記録を上回るシロザケを釣った。リーダーの長さは2.0m。海水面での釣りだったので、シロザケの記録として申請した。

正解=X シロザケは淡水魚部門として記録認定している魚種なので、リーダー長は1.82m 以内でなければ認定されません。海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定>C. リーダー【淡水魚】において、「すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m(6フィート)以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m(10フィート)以内であること」と表記されています。

【問題 8】

船から記録申請に値するヒラメを釣り上げ申請したが、取り込み時に使用したネットが全長2.5m だった。

正解=X 海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定>H. その他の用具において、「魚を取りこむ時に使用するギャフおよびネットは、全長が2.44m(8フィート)以内であること」と表記されています。ただし「橋、栈橋、その他の高い台や構造物から釣る時は、この長さ制限は適用されない」との併記もあります。

【問題 9】

複数のフック付きジグヘッドが装着されたアラバマリグ(アンブレラリグ)を使用して、記録申請に値するスズギを釣り上げたので、記録申請をした。

正解=X 海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定>G. フックおよびルアーの項に「フックのついたルアーは、1度に1つしか使用できない」と明確に表記されています。

【問題 10】

リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。

正解=● 海と淡水のフィッシング・ルール>釣具の規定>E. リールの項に、「リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない」とあります。

(フライフィッシングの部)

【問題 6】

フライフィッシングのリーダーには必ずバットおよびテーパー部分が必要なので、たとえば6kg クラスのナイロンラインだけをフライラインに直接接続して使うことはできない。

正解=● リーダーの項にこうあります。「リーダーは、フライフィッシングの慣習として一般的に使用されているものとする。リーダーにはクラスティベットおよびショックティベット(後者の使用は任意)が含まれる。フライラインとクラスティベットの間のバットおよびテーパー部分は、リーダーの一部とみなされ、その長さ、材質および強度に関する制限はない。……」リーダーの最低構成要素は、最低長を満たした非金属のクラスティベットのみであり、それを単一で用いることも慣習的な使用方法です。

【問題 7】

化学繊維を編んだローブを解いてフライのウイング材とすると、カジギ類がそれを叩いたときに絡まってキャッチ率が飛躍的に高まるが、このようなウイング材を使ったフライは使用できない。

正解=● フライの項に以下の記述があります。「魚を絡ませたり、ファウルフッキングするために設計されたいかなるフライの使用も禁じられている」。

【問題 8】

スズギがグラスにライズしており、それにマッチさせる必要があったので、何も巻いていないフックにちいさなワームを刺し、フライタックルで投げた。このようにして釣った魚はフライフィッシング・カテゴリ記録認定の対象である。

正解=X フライの項にこうあります。「ルアーがフライロッドでキャストできるという事実があっても、フライの定義にかなう証拠とはならない」。この場合のソフトプラスチック・ベイトは間違いなくルアーですので、フライフィッシング・カテゴリで使うことはできません。

【問題 9】

掛かった魚が大きかったので、2人でギャフを掛けて引き上げた。これはIGFAルール上問題ない。

正解=● 「釣具の規定」5. にあるように、複数の人がネット入れやギャフイングに参加できます。

【問題 10】

魚が掛かってファイトしたらノットがきつく締まり、制作時にはぎりぎり30.48cm 以内であったショックティベット部がすこし伸びて30.70cm になっていた。これは失格となる。

正解=● リーダーの項にこうあります。「ショックティベットの材質および強度については制限しないが、30.48cm(12インチ)以内とする。ショックティベットの長さは、フックのアイからクラスティベットのシングル部分までを測る(クラスティベットに接続するためのノット部分もショックティベットとみなされる)」。サンプル提出時にこの長さを超えていれば失格となります。



チャーターボートチームの劇的勝利！ マーメイド・アングラーズの快挙

2024年7月26日から28日までを本戦として開催された第46回JIBTは、
強風により初日キャンセルとなったものの、劇的な幕切れを迎えました。

1日目(7/26)

第46回国際カジキ釣り大会(The 46th Annual Japan International Billfish Tournament)の初日は朝から蒸し暑く、時折太陽が覗くものの、前日に引き続き下田沖で風速10m前後の風が吹くような条件となり、沖合は2.5m程度の波も残っていました。釣りができないことはありませんでしたが、ボートで安全に釣りをする条件が整っているとは言えない状況。

この気象条件は初日の終了時間までほとんど変化がない見込みでもあるため、開会式前に行われた実行委員会では、「安全を優先する」という原則にのっとり、初日の競技は残念ながら「中止」することに決定。アングラーたちは、開催地の下田で観光や食事などを楽しみました。

2日目(7/27)

強風の影響で中止となった1日目に比べ風速や波が若干弱まり、定刻の7:00にスタートフィッシングを無事迎えることができました。

今年は蛇行した黒潮の分流が下田沖に差し込み、28℃を超える潮がエリアを覆う状況。この高水温を反映するように、クロカジキ、シロカジキ、マカジキ、バショウカジキ、フウライカジキと、下田周辺域で一般的に釣れる全種のカジキが1日で釣れるという、近年一度も見られなかった現象が起きました。とくに、広範囲でバショウカジキだけで7尾の釣果が報告されたのが印象的です。

今大会のファーストビルフィッシュは、Team TRUSTのフウライカジキ(!)。減多に出会うことのないカジキを見られただけでも、とても価値が高いことだと感じます。また、Team TRUSTのみが本日2本の釣果を記録しました。

本日のポイントトップは、30ポンドラインで唯一結果を残すことのできた中日本マハ口。クロカジキ推定80kgにT&Rを行ったことにより、260ポイントで単独首位に立ちました。

2位には6チームが50ポンドラインでクロカジキにT&Rを決め、190ポイントで並んでいる状況。

合計21尾と多くの釣果がありながら、2尾釣れたのは1

チームのみ。最終日の釣果いかんでは全てのチームに優勝の可能性があると云えます。最終日の戦いが見逃せません。

3日目(7/28)

大会3日目は、続いていた強風も収まり、熱い夏の日差しのもと行われました。昨日と同じ午前7時00分にスタートフィッシング、最初のヒットコールは7時29分にチーム フリーダム(山野博司キャプテン)から寄せられましたが、本日の最初の釣果となったのは7時41分にヒットし7時48分にクロカジキ推定80kgにT&Rを行ったACE(高橋勇樹キャプテン)。

最終日は終了時間が少し短く、午後2時00分で競技終了となる予定でしたが、初日が強風で中止になったことを考慮し、1時間延長の午後3時までに変更されました。カジキ類のヒット数は52回を数え、多くの参加艇がファイトを繰り広げます。どのチームにも優勝のチャンスがある混戦模様。30lbラインを使い勝負に出るチーム、2匹目を確実にとりに行くチームとギリギリまで結果が分からない状況です。水温も30℃を超える中、本日の釣果はT&R16尾、キャッチ2尾の計18尾となりました。

大会2日間の最終結果は、クロカジキ2尾に50lbでT&Rを決めたチームNo.115のマーメイドアングラーズクラブBチーム(庵原直文キャプテン)が見事優勝。地元遊漁船を使ったチャーター船で出場し、勝負を決めた2尾目はストップフィッシング20分前のヒットでした。2位は2日目に30lbラインでクロカジキをT&Rをした中日本マハ口が、3位は3日目に30lbラインでクロカジキのT&Rに成功したビーフラットとなりました(同ポイントの場合は時刻の早い方優位)。

今回の表彰式は、道の駅・開国下田みなとの駐車場の一画をお借りして、野外にて実施。

選手約650名、関係者の皆さん約100名、合計750名を越

えるパーティーとなり、大いに盛り上がりました。今大会も無事故で開催でき、すばらしい釣果に恵まれたことをカジキにはもちろんのこと、スポンサーの皆様はじめ参加者ならびに多くの関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。来年も下田でお会いしましょう!

開催期間:2024.7.26-28

参加チーム:118チーム

選手数:648人

出場艇:118(オーナーボート:111 チャーターボート:7)

ストライク数:94(カジキのみ)

釣果総尾数:39尾(クロカジキ21、マカジキ7、シロカジキ1、バショウカジキ9、フウライカジキ1)

タグ&リリース:32尾 キャッチ:7尾

団体総合部門

優勝 マーメイドAC(B)

2位 中日本マハ口

3位 ビーフラット

個人総合部門

優勝 庵原 直文(マーメイドAC(B))

2位 白木 孝幸(中日本マハ口)

3位 赤澤 雅行(ビーフラット)

チャーターボート船長賞

静栄丸 土屋法久

西川龍三賞(最大魚賞)

座間英明(Blu Mari)

下田海上保安部長賞

ERIKA



JAPAN INTERNATIONAL BILLFISH TOURNAMENT

PRESENTED BY JAPAN GAME FISH ASSOCIATION



46th JIBT SHIMODA

Blu Mariがキャッチした133.6kgのクロカジキは最大魚賞を与えられました



日本近海では珍しいフウライカジキもキャッチ(小さいほうの魚)!

カジキ類全釣果情報(時系列順)

| No. | チーム名 | チーム No. | ボート | アングラー名 | 魚種名 | 結果 | 重量 | ライン | ハンディ | ポイント | ヒットタイム | ランディングタイム | ファイトタイム | エリア | 日付 |
|-----|-------------------|---------|-------------------|--------------|---------|------|----------|-----|-----------------------|-------|--------|-----------|---------|-----|-----------|
| 1 | Team TRUST | 76 | TRUSTIII | 許田 保弘 | フウライカジキ | キャッチ | 10.4kg | 80 | 10.4 x 0.5 x 1.0 + 30 | 35.2 | 7:40 | 7:45 | 0:05 | G | 2024/7/27 |
| 2 | チーム シャインフレンズ | 37 | シャインフレンズ | 三上 健二 | クロカジキ | キャッチ | 102.2kg | 50 | 102.2 x 1.5 | 153.3 | 7:56 | 13:03 | 5:07 | | 2024/7/27 |
| 3 | 88 | 93 | 88 | 玉川 秀雅 | マカジキ | T&R | 推定 40kg | 50 | 50 x 1.5 | 75 | 8:00 | 8:10 | 0:10 | J | 2024/7/27 |
| 4 | カイポイ | 71 | Kaipoi | 横川 康佑 | バショウカジキ | T&R | 推定 20kg | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 8:03 | 8:15 | 0:12 | H | 2024/7/27 |
| 5 | HOOKERS FC | 35 | 韋駄天 | 浦田 卓 | クロカジキ | T&R | 推定 100kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 8:16 | 8:26 | 0:10 | K | 2024/7/27 |
| 6 | チーム ビッグマーリン | 30 | Big Marlin | 山口 英之 | クロカジキ | T&R | 推定 110kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 8:49 | 8:59 | 0:10 | D | 2024/7/27 |
| 7 | ウェビーライン | 12 | WAVYLINE | 青沼 増美 | クロカジキ | T&R | 推定 90kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 9:47 | 10:04 | 0:17 | G | 2024/7/27 |
| 8 | ADVANCE | 89 | ADVANCE | 久保田 典秀 | マカジキ | T&R | 推定 60kg | 80 | 50 x 1.0 | 50 | 10:20 | 11:00 | 0:40 | | 2024/7/27 |
| 9 | Team LOFTY | 88 | LOFTY | 米田 侑夢 | バショウカジキ | T&R | 推定 50kg | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 10:30 | 10:45 | 0:15 | J | 2024/7/27 |
| 10 | ビル G | 116 | 番匠高宮丸 | 名古屋 和彦 | バショウカジキ | T&R | 推定 50kg | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 10:39 | 10:48 | 0:09 | H | 2024/7/27 |
| 11 | チーム愛見丸 & 卓丸 | 70 | 卓丸 | 太田 卓利 | バショウカジキ | T&R | 推定 40kg | 80 | 40 x 1.0 | 40 | 10:52 | 10:57 | 0:05 | G | 2024/7/27 |
| 12 | TEAM DASH | 62 | TECHNICAL-VI DASH | 福島 弘治 | バショウカジキ | T&R | 推定 40kg | 80 | 40 x 1.0 | 40 | 11:10 | 11:20 | 0:10 | G | 2024/7/27 |
| 13 | Blu Mari | 96 | 座間 英明 | 座間 英明 | クロカジキ | キャッチ | 133.6kg | 80 | 133.6 x 1.0 + 50 | 183.6 | 11:36 | 15:30 | 3:54 | G | 2024/7/27 |
| 14 | Team PLATINUM | 46 | PLATINUM | 梶原 隼人 | クロカジキ | T&R | 推定 50kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 11:48 | 11:58 | 0:10 | H | 2024/7/27 |
| 15 | la merriche FC | 83 | la mer riche | 津島 和亮 | バショウカジキ | T&R | 推定 20kg | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 11:55 | 12:07 | 0:12 | J | 2024/7/27 |
| 16 | だるま | 73 | ダルマ | 岩本 樹 | クロカジキ | キャッチ | 90.8kg | 50 | 90.8 x 0.5 x 1.5 | 68.1 | 12:00 | 12:45 | 0:45 | K | 2024/7/27 |
| 17 | 静岡オーシャンマジック MTB | 60 | MTB | 小原 宏紀 | バショウカジキ | T&R | 推定 15kg | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 12:39 | 12:49 | 0:10 | | 2024/7/27 |
| 18 | 中日本 Mahalo | 40 | Mahalo | 白木 孝幸 | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 30 | 130 x 2.0 | 260 | 13:17 | 13:27 | 0:10 | J | 2024/7/27 |
| 19 | マーメイド AC (B) | 115 | 静栄丸 | 庵原 直文 | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 13:53 | 14:03 | 0:10 | J | 2024/7/27 |
| 20 | Andy | 75 | ANDY | 鈴木 秀和 | クロカジキ | T&R | 推定 110kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 14:06 | 14:16 | 0:10 | J | 2024/7/27 |
| 21 | Team TRUST | 76 | TRUSTIII | 畑中 将司 | マカジキ | キャッチ | 54.4kg | 50 | 54.4 x 1.5 | 81.6 | 14:43 | 14:53 | 0:10 | G | 2024/7/27 |
| 22 | ACE | 91 | ACE | 岩金 和雄 | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 7:41 | 7:48 | 0:07 | J | 2024/7/28 |
| 23 | チームヤマハ | 102 | DFR-36 | 渡辺 佳和 | バショウカジキ | T&R | | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 7:45 | 7:52 | 0:07 | J | 2024/7/28 |
| 24 | 25 TOBISHIMA MUTA | 95 | 第 25 とび島丸 | テリ・テラ・ウエ・ネ・ト | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 80 | 130 x 1.0 | 130 | 8:05 | 8:21 | 0:16 | G | 2024/7/28 |
| 25 | 田信フィッシングクラブ | 81 | TOSEA | 羽尾 和弘 | クロカジキ | 失格 | | 50 | 130 x 1.5 | | 8:32 | 8:49 | 0:17 | K | 2024/7/28 |
| 26 | DAIWA | 72 | DAIWA | 奥住 利明 | クロカジキ | キャッチ | 73.6kg | 130 | 73.6 x 0.5 x 0.6 | 22.08 | 8:33 | 8:53 | 0:20 | H | 2024/7/28 |
| 27 | チーム ビーフラット | 27 | ビーフラット | 赤澤 雅行 | クロカジキ | T&R | 推定 60kg | 30 | 130 x 2.0 | 260 | 8:52 | 9:08 | 0:16 | G | 2024/7/28 |
| 28 | 25 TOBISHIMA MUTA | 95 | 第 25 とび島丸 | テリ・テラ・ウエ・ネ・ト | クロカジキ | T&R | 推定 90kg | 80 | 130 x 1.0 | 130 | 9:19 | 9:50 | 0:31 | G | 2024/7/28 |
| 29 | team SKB | 54 | SKB | 谷岡 篤史 | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 9:21 | 9:41 | 0:20 | G | 2024/7/28 |
| 30 | サンルーカス | 100 | SAN LUCAS | 石黒 叶大 | クロカジキ | キャッチ | 104kg | 30 | 104 x 2.0 + 50 | 258 | 9:22 | 10:16 | 0:54 | G | 2024/7/28 |
| 31 | 横浜ビルフィッシュクラブ (B) | 58 | VICTORY II | 松本 大作 | マカジキ | T&R | | 80 | 50 x 1.0 | 50 | 9:32 | 9:48 | 0:16 | I | 2024/7/28 |
| 32 | Bluewater | 7 | Blue Water | 佐々木 周平 | クロカジキ | T&R | 推定 110kg | 30 | 130 x 2.0 | 260 | 10:57 | 12:00 | 1:03 | J | 2024/7/28 |
| 33 | アドミラル FC | 2 | ADMIRAL - 荒武者 | 前田 美乃 | クロカジキ | T&R | 推定 110kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 11:49 | 12:20 | 0:31 | H | 2024/7/28 |
| 34 | Black Pearl FC. | 28 | BLACK PEARL II | 浅野 真一郎 | バショウカジキ | T&R | | 50 | 40 x 1.5 | 60 | 12:13 | 12:21 | 0:08 | G | 2024/7/28 |
| 35 | ホワイタイガー | 39 | ホワイタイガー | 赤堀 大輔 | クロカジキ | T&R | 推定 80kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 12:18 | 12:39 | 0:21 | G | 2024/7/28 |
| 36 | DAIWA | 72 | DAIWA | 葛原 剛 | マカジキ | T&R | 推定 75kg | 50 | 50 x 1.5 | 75 | 12:51 | 13:16 | 0:25 | H | 2024/7/28 |
| 37 | コア マーリン クラブ | 18 | コアドリーム | 本田 寿浩 | マカジキ | T&R | | 50 | 50 x 1.5 | 75 | 13:37 | 13:47 | 0:10 | G | 2024/7/28 |
| 38 | Bull Fighter | 34 | Bull Fighter | 杉山 和由 | マカジキ | T&R | 推定 30kg | 50 | 50 x 1.5 | 75 | 14:00 | 14:13 | 0:13 | H | 2024/7/28 |
| 39 | フワード | 33 | FORWARD IX | 三枝 久美恵 | クロカジキ | T&R | 推定 30kg | 30 | 130 x 2.0 | 260 | 14:03 | 14:13 | 0:10 | G | 2024/7/28 |
| 40 | マーメイド AC (B) | 115 | 静栄丸 | 庵原 直文 | クロカジキ | T&R | 推定 70kg | 50 | 130 x 1.5 | 195 | 14:37 | 14:47 | 0:10 | G | 2024/7/28 |

ASSOCIATE MEMBER LIST

賛助会員メンバーズ・リスト



ユニコン エンジニアリング株式会社



賛助会員募集 「いい釣りをいつまでも。」をスローガンに、スポーツフィッシングの普及を目指すJGFAをぜひサポートしてください。

- 特典 1. 賛助会員主催のイベントを後援します。(ただし後援規定に基づくイベント)
2. 実費プラス手数料で、会社パンフ、アンケートなどを会員に発送するDMサービスをご利用いただけます。
3. JGFA イヤーブックに紹介記事が載ります。
4. JGFA NEWS (年4回発行の会報) とホームページにロゴマークが載ります。
5. 代表者と担当者の2名は、JGFA 及び JGFA の会員として登録されます。
6. 代表者は、JGFA のパーティーにご招待します。
- 会費 1口 100,000円 (1口以上)
- 備考 代表者と担当者以外で、会員登録を希望する企業内の方は、年会費6,000円を加算いただければクラブメンバーと同様の特典が得られます。

問い合わせ先: JGFA事務局 ☎03-6280-3950

タグ購入代金カンパにご協力を

皆様がお使いのアンカー式スバゲティタグもダートタグSも、協会が購入する原価でセットあたり4000円します。年間500セットほど皆様に配布いたしておりますので、単純計算で200万円、ちょっとした金額です。そこで皆様をお願いします。クラブ主催のトーナメント、パーティ、忘年会などの機会を捉えて募金箱を回し、「タグ&リリース活動資金カンパ」を行っていただけませんか。もちろん、個人や企業の皆様からのご寄付もよろこんでお受けいたします。ゲームフィッシュの生態解明のため、釣り人ができる大きな貢献であるタグ&リリースをこれからも継続し、私たちが資源保全に真剣であることを示すため、ぜひご協力をお願いいたします。お振込先の情報は以下のとおり、なにとぞご検討を。

銀行名: みずほ銀行 恵比寿支店
口座名: 「タグ アンド リリース活動資金」
口座No: (普) 1561275

タグ&リリース寄付者リスト

タグ&リリース活動資金にご寄付いただきましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。引き続き募集しておりますので、ご協力くださいますよう、お願いいたします。(順不同・敬称略)

| タグ&リリース寄付者リスト | | |
|---------------|------------------|--------|
| 2024/6/4 | フィッシングキャンプスタッフより | 2,620 |
| 2024/6/11 | JBTK実行委員会 | 50,000 |
| 2024/6/19 | 濱田 裕(レギュラー会員) | 3,000 |
| 2024/6/19 | アンドウユスケ | 10,000 |
| 合計 | | 65,620 |